

バイオガス調達費について

平成28年9月13日

東京ガス株式会社

目次

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. エネルギー供給構造高度化法について | …P.2 |
| 2. バイオガスの都市ガス利用について | …P.3 |
| 3. 原価算定概要①～③ | …P.4～6 |

1. エネルギー供給構造高度化法について

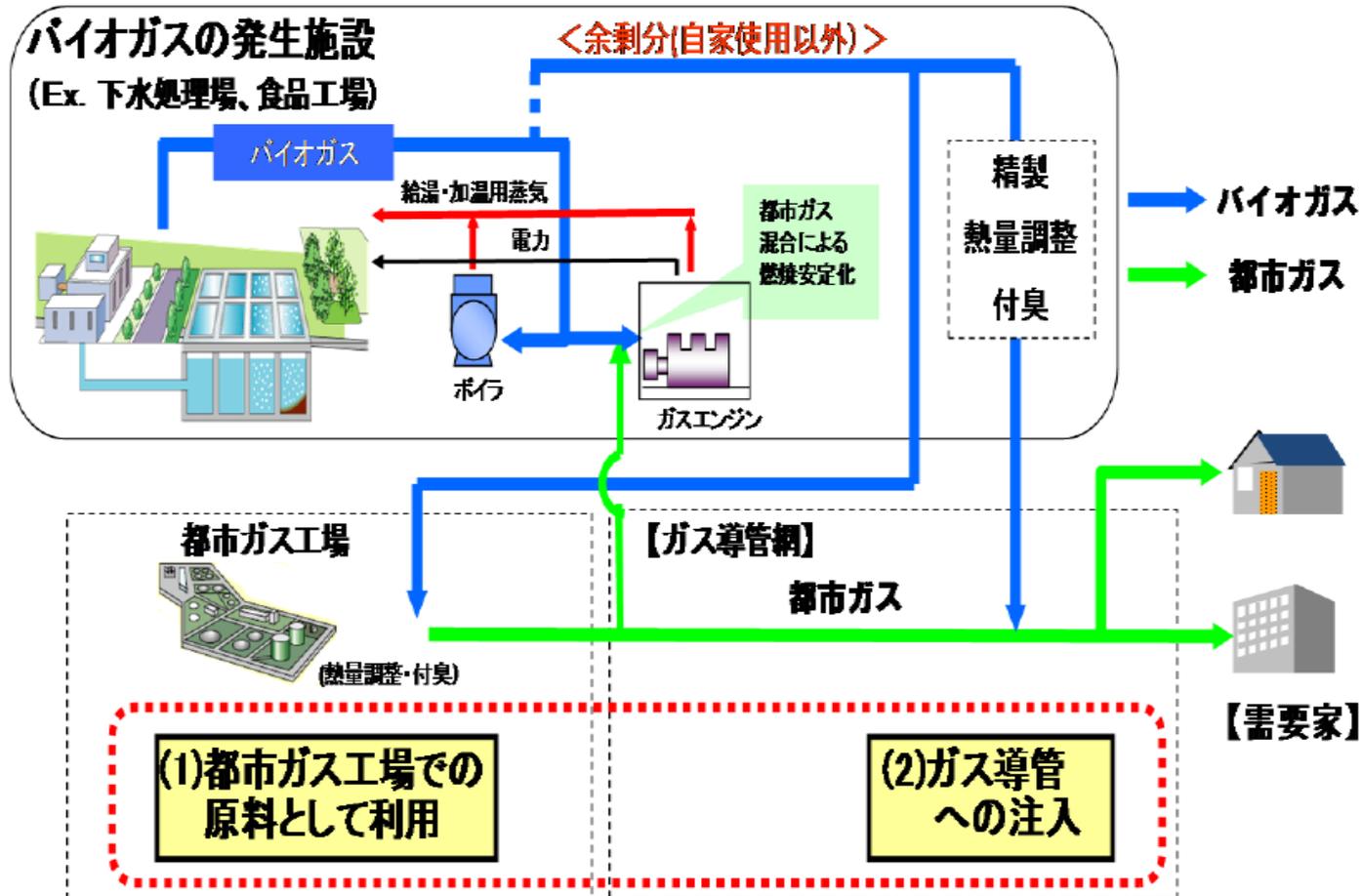
- 平成21年に施行されたエネルギー供給構造高度化法により、当社は、非化石エネルギー源の利用の一環として、バイオガスの導管注入が義務付けられております。
- また、平成22年11月には、取り組むべき目標や実施方法に関する基準が公表されており、一定規模以上のガス事業者は目標達成に向けた計画書を提出しています。
- 当社は、平成22年12月に計画書を提出しています。

◆法で定められた基準および目標

法で定められた基準	利用目標	H27年において、下水処理場等で発生する余剰バイオガス推定量（適正なコストで調達できるもの）の80%以上を利用（H27年実績：100%、H29-31年度：100%）
	実施方法	バイオガスの調達条件の策定・公表
当社の目標	目標量	836千m ³ /年
	考え方	供給区域内において、余剰バイオガスが発生している食品リサイクル施設での利用可能量を対象に、目標量を設定

2. バイオガスの都市ガス利用について

- 既に所内エネルギー（電気・熱）に利用していたバイオガスの一部（余剰分）を、新たに導入したバイオガス導管注入設備を通すことにより、バイオガスの都市ガス利用を実現しています。



3. 原価算定概要①

- バイオガス調達費は、算定省令に基づき、算定しました。

◆ バイオガス調達費の内訳（東京地区等）

（億円）

	H29	H30	H31	H29-31 平均	備考
バイオガスコスト①					・契約内容を踏まえ算定
原料コスト②	0.2	0.3	0.3	0.3	・平成28年3月から5月の3月間の貿易統計をもとに算定
製造コスト③	0	0	0	0	
バイオガス調達費①-(②+③)					

(※)購入先が1社であり、同社との機密保持条項を鑑みて非表示

3. 原価算定概要②

- 具体的な算定方法は以下の通りです。

		単 位	H29	H30	H31	H29-31平均
バイオガス調達量	①	千m3	732	836	836	801
バイオガスコスト	② = 調達単価 × ①	千円				
LNG及びLPGの円建て貿易統計価格 + 石油石炭税相当額	③	円/m3	33	33	33	
原料コスト	④ = ② × ③	千円	23,988	27,384	27,384	26,252
調整力コスト	⑤	千円	7,827	7,827	7,827	7,827
原価算定期間の必要調整力の合計	⑥	m3/時	752,607	752,607	752,607	752,607
過去3年平均のピーク時生産実績	⑦	m3/時	10,961,625	10,961,625	10,961,625	10,961,625
過去3年平均の年間生産量	⑧	千m3	13,711	13,711	13,711	13,711
製造コスト	⑨ = (⑤ ÷ ⑥ × ⑦) ÷ ⑧ × ①	千円	6,088	6,088	6,088	6,088
バイオガス調達コスト	⑩ = ① - (④ + ⑨)	千円				

(※) 購入先が1社であり、同社との機密保持条項を鑑みて非表示

3. 原価算定概要③

- 算定方法のイメージは以下の通りです。

◆バイオガス調達費の算定方法

